

令和2年11月20日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）について

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和2年11月20日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに104件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は、12,983件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累計
登録数	104件 22都府県37市町(区)	12,983件 47都道府県979市町村(区)

○時代別 (件)

	江戸以前	明治	大正	昭和	計
新規登録	25	30	11	38	104
累計	2,305	4,112	2,631	3,935	12,983

○種別 (件)

	産業			交通	官公庁舎	学校	生活関連	文化福祉	住宅	宗教	治山治水	他	計
	1次	2次	3次										
新規	0	22	19	0	2	1	0	4	32	24	0	0	104
累計	118	1,375	1,640	512	231	393	336	416	5,783	1,884	210	85	12,983

(件)

	建築物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	89	0	15	104
累計	10,275	650	2,058	12,983

2. 今回の答申における主なもの

① 豪^{ごう}壮^{そう}な店舗と白漆喰^{ちようば}の帳場^{ちようば}を並べ建て、通りの景観をつくる

003 旧橋平酒造店（醸室）店舗ほか2件 宮城県大崎市 明治前期

市中心部にある酒造業などを営んだ商家。店舗は旧奥州街道沿いに東面して建つ。屋根の南面を入母屋造り、北面を切妻造りとした二階建て椽瓦形鉄板葺きで、正面に下屋を付し、成の^{せい}高い腕木で出桁造りの軒を豪壮に見せる。内部は一階に店舗、二階に床付きの座敷を配す。帳場は、置屋根形式の土蔵造り二階建てで、正面に店舗から続く下屋を付す。外壁は白漆喰塗りで、上部に黒漆喰塗りの鉢巻を廻す。二棟を並べて旧街道の景観をつくる。



② レーモンド設計のスパニッシュのクラブハウス

023 旧藤澤カントリー倶楽部クラブハウス（グリーンハウス）神奈川県藤沢市 昭和7年

藤沢市の中央部に位置。A・レーモンド設計。切妻造り三階建ての正面に大きな車寄^{くるまよせ}を張り出し、背面に二階建てをのばす。一階はホールの廻りに各室をならべ、二階は吹き抜けのラウンジである。車寄など開口部の半円アーチによる構成、青緑色のスパニッシュ瓦葺き屋根、アイアンワークの手摺など、全体をスパニッシュの手法でまとめる。現存する戦前のゴルフクラブハウスとして希少。



写真提供：神奈川県

③ 越前和紙製造の施設が一連で残る

047 岩野平三郎製紙所事務所ほか8件 福井県越前市 明治元年

越前和紙の産地、旧今立町にある製紙所。事務所は岡本川が流れる谷間の南北に長い敷地の北寄りに建つ。木造二階建て、切妻造り椽瓦葺きで正面に下屋を付す。外壁は真壁造で腰を下見板張りや縦板張りとする。隣接する主屋のほか、岡本川の上流となる南から北にむかってピーター一場、漉き場及び圧搾場、煮釜場、張り場及び乾燥場、コグラ、旧大工小屋、土蔵が残^{いまだて}り、和紙製造過程の一連の施設群をなす。



写真提供：越前市教育委員会

④ ^{よしむらじゅんぞう}吉村順三設計の軽井沢のアトリエ

060 ^{わきたかす}脇田和アトリエ山荘 長野県軽井沢町 昭和45年

昭和から平成にかけて活躍した洋画家・脇田和のアトリエ兼山荘。設計者の吉村順三は東京藝術大学の同僚。一階を鉄筋コンクリート造のピロティとし、主要な室は木造の二階に配する。くの字形の長大な平面を東西に分け、東棟はリビングや寝室等とし南に大きな開口を開けて庭を望む。西棟は矩形平面のアトリエと書斎。設計者・吉村順三の作風が表れるモダニズム住宅の佳品。



写真提供：一般財団法人脇田美術館

⑤ 井伊家の寄進による江戸後期の伽藍がよく残る

070 ^{くげいじ}弘誓寺本堂ほか5件 滋賀県東近江市 寛政2年（1790）

いわゆる七弘誓寺の一つで井伊家の庇護を受けた。本堂は桁行七間、梁間七間、入母屋造り本瓦葺き、三間向拝付きで南面する。龜腹上の礎石に柱を立て台輪を載せ、組物は木鼻付き平三斗で軒は二軒繁垂木。内部は、内陣を中心に前方を外陣、左右を脇陣とする浄土宗寺院本堂の特徴を示す。軒高の高い伸びやかな外観が印象的な本堂。庫裏や玄関など主要建物を一体として保存を図る。



写真提供：滋賀県文化スポーツ部

⑥ 中央ドームがアクセントとなる県庁舎

091 愛媛県庁本館 愛媛県松山市 昭和4年

^{きごしちろう}木子七郎設計、^{ないとうたちゅう}内藤多仲構造設計、安藤組施工の県庁舎。H形平面を持ち、鉄筋コンクリート造地下一階、地上四階建て。中央の車寄上部に三連の半円アーチを並べ、頂部にドームを冠した塔屋を載せて両翼を張り出す。外観は装飾を車寄開口と窓廻りの縁取りに留め、石積に平滑なモルタル仕上とするなど記念性と近代性を兼ね備えた意匠を持つ。内部は中央階段室や正庁等を華麗に飾る。



写真提供：北村徹

＜担当＞	文化庁文化財第二課	電話：03-5253-4111（代表）
課長	鍋島 豊	
課長補佐	田井 祐子	
登録部門	田中 禎彦、福田 剛史（内線 2797）	
審議会係	川口 雅之、川村 昌由（内線 3160）	

No	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
1	旧高橋家住宅(風の沢ミュージアム)主屋	宮城県栗原市	E末期/H15・同27改修	主屋は寄棟(よせむね)造り茅(かや)葺(ぶ)きで平面は整形四間取(よつまど)りとし、オクザンキには床を構えて天井を床差しとする。隣接する馬屋は馬屋としては大型で、せがいで造りとして軒を深くとる。大型の茅葺き屋根が並び建ち、里山の風景を形成する。	建築物	住宅	1
2	旧高橋家住宅(風の沢ミュージアム)馬屋		S9頃/H15・同27改修		建築物	住宅	1
3	旧橋平酒造店(醸室(かむろ))店舗	宮城県大崎市	M前期/T14頃増築改修、H17改修、R2移築	旧奥州(おうしゅう)街道に面して建つ商家。店舗は屋根南面を入母屋(いりもや)、北面を切妻(きりづま)とした二階建て鉄板葺き平入りで、せいの高い腕木(うでぎ)で出桁(だしげた)造りの軒を豪壮に見せる。帳場は土蔵造り二階建て棧瓦葺き妻入りで、白漆喰(しっくい)の外壁に黒漆喰の鉢巻(まわ)し、正面に店舗から続く下屋(げや)を通す。帳場に接する主屋とあわせ、旧街道の景観を形成。	建築物	産業2次	1
4	旧橋平酒造店(醸室)帳場		M前期/H17改修、R2移築		建築物	産業2次	1
5	旧橋平酒造店(醸室)主屋		M前期/S8頃・H17改修、R2移築		建築物	産業2次	1
6	立川醤油店店舗及び主屋	茨城県常陸太田市	E末期	醤油醸造の店舗。通りに面して店舗を構え、背後に主屋が接する。店舗はつし二階建て切妻造り棧瓦葺きで、間口の広い店舗が通りの景観を形成する。	建築物	産業2次	1
7	太田家住宅見世蔵(みせぐら)及び主屋	栃木県佐野市	M8頃	佐野市の中心部に位置。太田家は江戸時代から呉服太物(ふどもの)商を営んだ。見世蔵及び主屋は土蔵造りで二階を出桁造りとして軒裏まで塗り込み、棟を高く積む等店蔵の特徴を示す。主屋は棟を直交させて西に接続し、二階建て切妻造り棧瓦葺き。主屋の西には中蔵、西蔵、敷地の東南隅には南蔵が建ち、いずれも土蔵造り二階建て切妻造り棧瓦葺きで、漆喰で鉢巻まで塗り込める。中蔵は木造二階建てを接続させ一体とする。その他、敷地内には小規模ながら精巧なつくりの一間社(いっけんしゃ)入母屋造りの八幡社、一間社切妻造りの稲荷社が点在する。楣上に獅子彫刻を載せる特徴的な門を開けた石堀が、重厚な見世蔵とともに通り沿いの景観をつくる。	建築物	産業3次	1
8	太田家住宅中蔵		M8頃		建築物	産業3次	1
9	太田家住宅西蔵		M8頃		建築物	産業3次	1
10	太田家住宅南蔵		E末期		建築物	産業3次	1
11	太田家住宅八幡社		M14頃		建築物	産業3次	1
12	太田家住宅稲荷社		M14頃		建築物	産業3次	1
13	太田家住宅表門及び石堀		S前期		工作物	産業3次	1
14	金井義明家住宅主屋	群馬県伊勢崎市	M元/M17・H16改修	切妻造り棧瓦葺きの総二階建てで越(こし)屋根を二箇所掲げる蚕種(さんしゅ)製造民家。縁の張り出しなどは建築後の改修とみられ、中規模蚕種民家の成立と変遷を示す。	建築物	住宅	1
15	田島善一家住宅主屋	群馬県伊勢崎市	E末期/M41移築増築	田島弥平旧宅(国史跡)の近隣に建つ蚕種製造民家。入母屋造り棧瓦葺きの総二階建てで棟全長に越屋根を掲げる。大規模ゆえの迫力を有する。	建築物	住宅	1
16	田島達行家住宅主屋	群馬県伊勢崎市	慶応2(1866)/M頃・T頃・S3・S4増築	田島弥平旧宅(国史跡)の近隣に建つ蚕種製造民家。切妻造り棧瓦葺きの総二階建てで、棟全長に越屋根を備える。周囲に積極的な増築を行い規模を拡大した。	建築物	住宅	1
17	旧玉成舎(ぎょくせいしゃ)主屋	埼玉県比企郡小川町	M21/S6移築改修、H30改修	施主の松本嘉三郎は清温育による養蚕普及のため玉成舎を設立し、主屋は集会場としても使用された。二階建て入母屋造り鉄板葺きで二階の建ちが高い。石蔵は石造二階建て切妻造り棧瓦葺きで大谷石積み化粧で現す。	建築物	産業2次	1
18	旧玉成舎石蔵		S36/H30改修		建築物	産業2次	1
19	金剛寺大日堂	埼玉県比企郡川島町	E中期/T15・S55改修	真言宗智山派の比企(ひき)家菩提寺(ぼだいじ)。大日堂は正面一間側背面二間室形(ほうぎょう)造り銅板葺き。外部の小壁は古式な墓殿(かえるまた)や彫刻で飾り、室内は円柱で内外陣に仕切り、壁画や天井画を描く。山門は切妻造り棧瓦葺きの四脚門(しきゃくもん)。	建築物	宗教	1
20	金剛寺山門		嘉永(かえい)5(1852)		工作物	宗教	1
21	野田市郷土博物館	千葉県野田市	S34	山田守設計の郷土博物館。リシン仕上げに横目地を入れ、横長の開口部を開けるなど、水平を意識した外観意匠をとる。	建築物	文化福祉	2
22	海福寺本堂	東京都目黒区	M42	入母屋造り棧瓦葺きで正面北寄りに向拝(ごはい)を付け、背後に寄棟造りの突出部を張り出す。北列を仏堂、南列を客間とした黄檗宗(おうぼくしゅう)寺院本堂。	建築物	宗教	1
23	旧藤澤カントリー倶楽部クラブハウス(グリーンハウス)	神奈川県藤沢市	S7/R2改修	A・レーモンド設計。開口部の半円アーチや青緑色のスパニッシュ瓦葺き屋根など、全体をスパニッシュでまとめる。戦前のゴルフクラブハウスとして希少。	建築物	文化福祉	2

No	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準
24	福岡家住宅橐駝庵(たくだあん)	神奈川県藤沢市	T5頃	土佐藩出身の政治家福岡孝弟(たかちか)の茅葺き別荘。板間と和室からなり、豪壮な梁組とともに竹や丸太材を用いる等、民家風に数寄屋(すきや)趣味を加味した風趣(ふうしゅ)ある造り。	建築物 住宅	1
25	龍口寺妙見堂	神奈川県藤沢市	享保5(1720)/M後期改修	日蓮が遭遇した「龍の口の法難」由緒地所在の日蓮宗寺院。妙見堂は桁行四間梁間三間入母屋造り銅板葺き向拝付きで妙見菩薩像を安置する。大書院は入母屋造り妻入りの正面に切妻造りの平屋と入母屋造り庇(ひさし)付きの式台(しきだい)を張り出すなど屋根を重層させた豪壮な外観を有する。入母屋造り本瓦(ほんがわら)葺きで規模が大きく禅宗様基調の鐘楼や、起(むく)り付きの切妻造り棧瓦葺きで、彫刻を多用する手水舎とともに伽藍(がらん)の景観を形成する。	建築物 宗教	1
26	龍口寺大書院		S7		建築物 宗教	1
27	龍口寺鐘楼		M14/S44移築		工作物 宗教	1
28	龍口寺手水舎		慶応3(1867)		工作物 宗教	1
29	嶋崎家住宅主屋	神奈川県海老名市	M後期/T15・S50・同57改修	相模川左岸に位置する。主屋は入母屋造り銅板葺きの周囲に下屋を廻(めぐ)らす。軸部厚手で施工も洗練された近代の上質な民家建築。主屋北東に建つ離れも四方枳(しばうまさ)の杉材など材料を吟味し意匠を凝らす。	建築物 住宅	1
30	嶋崎家住宅離れ		S3		建築物 住宅	1
31	長谷川家住宅双子蔵	新潟県新発田市	M中期	二階建て切妻造り棧瓦葺きの二棟の土蔵全体を大きな置屋根(おきやね)の覆屋で覆う。特徴的な外観が地域の景観を形成。	建築物 産業3次	1
32	日本基督教団燕教会	新潟県燕市	S5/S39・同45増築	二階建て切妻造り棧瓦葺きで前後に突出部を設ける。一階を旧保育園、二階を礼拝所とし二階に半円アーチ窓を並べる。意匠平明な木造教会堂。	建築物 宗教	1
33	環翠楼(かんすいろう)臨泉閣	新潟県阿賀野市	M後期	新潟平野山間部の村杉温泉に所在する。臨泉閣は二階建て入母屋造り棧瓦葺きで一、二階とも八畳座敷二室からなり、三方にガラス戸を建て庭を望む。中広間は平屋建て寄棟造り棧瓦葺き。続き間の座敷は小壁のせいが高く開放感がある。	建築物 産業3次	1
34	環翠楼中広間		S43		建築物 産業3次	1
35	淡島神社拝殿	新潟県胎内市	T15/S5改修	近代に開かれた花街の神社拝殿。入母屋造り棧瓦葺き向拝付き。向拝虹梁(こうりょう)まわりは波形の渦紋(うずもん)や木鼻(きばな)に獏(ぼく)を付け龍彫刻を載せる等意匠を凝らす。	建築物 宗教	1
36	ときや土蔵	新潟県胎内市	S9/H15移築改修	四段掛子(かけご)塗りの開き戸や、白と黒の漆喰で塗り分けた窓庇を鶴の鍍絵(こてえ)付き持送(もちおくり)で受ける等、開口回りに意匠を凝らす旅館の土蔵。	建築物 住宅	1
37	旧藤村家住宅(田村家住宅)主屋	石川県野々市市	S12	旧北国(ほっこく)街道の宿場町であった野々市に所在。明治十一年の明治天皇の御小休所と伝え、離れ、表門などに当時の遺構が残る。主屋は後年の建築で、二階の一部をやや前方に張り出して入母屋の妻を重ね、さらに入母屋の玄関を付す等豪壮な外観をもつ。離れは旧主屋の一部で一二畳半の座敷及び続き間を有し、座敷境の彫刻欄間(らんま)は富士を題材とするなど上質な設(しつら)えをもつ。前の蔵は柱の外面に板を張って土塗りとするなど、旧板蔵を土蔵に改修したとみられ興味深い。その他、戸室(とむろ)石や笏谷(しゃくだに)石を張り、さらに海鼠壁(なまこかべ)を化粧とする後ろの蔵、北国街道に面して建つ棟門形式の表門他、敷地内外を区画する裏門、土塀、板塀などが街道沿いの屋敷景観を形成する。	建築物 住宅	1
38	旧藤村家住宅(田村家住宅)離れ		M前期		建築物 住宅	1
39	旧藤村家住宅(田村家住宅)前の蔵		E末期		建築物 住宅	1
40	旧藤村家住宅(田村家住宅)後ろの蔵		M前期		建築物 住宅	1
41	旧藤村家住宅(田村家住宅)表門		M前期		工作物 住宅	1
42	旧藤村家住宅(田村家住宅)裏門		S12		工作物 住宅	1
43	旧藤村家住宅(田村家住宅)土塀		M前期		工作物 住宅	1
44	旧藤村家住宅(田村家住宅)板塀		S12		工作物 住宅	1
45	旧大和田銀行本店社屋	福井県敦賀市	M34/M37・H8改修	地方銀行の本店遺構。木造二階建て切妻造り棧瓦葺き。正面にバラペットを立ち上げ陸屋根(ろくやね)に見せ、矩形(くけい)の縦長窓を並べて洋風意匠をとる。	建築物 産業3次	1
46	旧中名田郵便局	福井県小浜市	S11頃/S後期改修	木造二階建て寄棟造り棧瓦葺きで切妻玄関を付す。下見板(したみいた)張りにペンキ塗りで一階に縦長窓を開くなど、昭和初期の地方郵便局舎の様相を示す。	建築物 官公庁舎	1

No	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
47	岩野平三郎製紙所事務所	福井県越前市	M元／S中期	越前和紙の産地、旧今立町にある製紙所で、大判の日本画用和紙の生産で知られる。岡本川が脇を流れる谷間の南北に長い敷地をもち、敷地北寄りに事務所が建つ。木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで、外壁は土壁とし腰に下見板等を張る。隣接する主屋も木造二階建て、切妻造り棧瓦葺きで土壁に下見板等を張る。敷地北端には土蔵が建ち、軒先まで漆喰を塗り込めた丁寧なつくり。このほか、岡本川の上流となる南から下流の北に向かって材料の繊維を叩き解すピーター場、紙を漉き、脱水する漉き場及び圧搾場、繊維を煮る煮釜場、紙を乾燥させる張り場及び乾燥場やコグラ、梱包用の木箱を作成した旧大工小屋と、木造平屋建てないし二階建てで切妻造り棧瓦葺きとし、外壁は土壁に下見板等を張った、一連の和紙製造に関わる生産施設が群を成して残っており、一括して登録を図る。	建築物	産業2次	1
48	岩野平三郎製紙所主屋		M元／T後期増築、S8頃・同30頃改修、同中期増築		建築物	産業2次	1
49	岩野平三郎製紙所土蔵及び繋ぎ屋		T後期		建築物	産業2次	1
50	岩野平三郎製紙所煮釜(にがま)場		S27		建築物	産業2次	1
51	岩野平三郎製紙所ピーター場		S28		建築物	産業2次	1
52	岩野平三郎製紙所漉(す)き場及び圧搾場		T後期／S28改修		建築物	産業2次	1
53	岩野平三郎製紙所張り場及び乾燥場		S28／同40頃増築		建築物	産業2次	1
54	岩野平三郎製紙所コグラ		S24		建築物	産業2次	1
55	岩野平三郎製紙所旧大工小屋		S31		建築物	産業2次	1
56	馬場家住宅主屋	福井県越前市	M24頃／M39増築改修、S前期増築	馬場家は代々福井藩広瀬領の大庄屋を務めた。主屋は二階建て切妻造り棧瓦葺きで角屋(つのや)を張り出し玄関とする。東と貫を整然と重ねた妻面を見せる越前の豪壮な民家。土蔵は漆喰を軒まで塗り込め、戸口廻りに意匠を凝らす。長屋門は大型でL字形の平面をもち、旧家の風格をよく示す。	建築物	住宅	1
57	馬場家住宅土蔵		M25		建築物	住宅	1
58	馬場家住宅長屋門		文久2(1862)／T2移築		建築物	住宅	1
59	日本聖公会松本聖十字教会	長野県松本市	M43／S32移築改修	切妻造りの屋根に赤色瓦を葺き鐘塔(しょうとう)を建てる。シザーストラスを組み、尖頭(せんとう)アーチを用いるなどゴシックを基調とする木造教会堂。	建築物	宗教	1
60	脇田和(わきたかず)アトリエ山荘	長野県北佐久郡軽井沢町	S45	一階をピロティとし主要な室を二階に配する。大きな開口を開けて庭を望む等、建築家・吉村順三の作風がよく表れる洋画家のアトリエ兼山荘。	建築物	住宅	2
61	旧喜多藤(きたと)別館	三重県名張市	T12	明治創業に遡る名張川沿いの元料亭旅館。二階建ての別館及び大広間棟は、二階川側の間口いっぱいを掃き出しのガラス窓開口として眺望を誇る。いずれも意匠を凝らした座敷を有し、とくに大広間棟の二階は四四畳大の広間で、折上格天井(おりあげごうてんじょう)に色漆喰を用いた壁など豪華(ごうしゃ)な意匠をもつ。大広間棟の西には元居宅である翠明荘、茶室である阜月寮(わたりのうか)で接続する。いずれも下地窓を開け、皮付きの丸太を用いるなど数寄屋趣味が横溢(おういつ)する。この他、個室使いの艶秀亭や、便所棟なども残り、初瀬街道に面した表門とともに料亭旅館の繁栄を現在に伝える。	建築物	産業3次	1
62	旧喜多藤大広間棟		S11		建築物	産業3次	1
63	旧喜多藤翠明荘(すいめいそう)		S11		建築物	産業3次	1
64	旧喜多藤阜月寮(さつきりょう)		S11		建築物	産業3次	1
65	旧喜多藤艶秀亭(えんしゅうてい)		S7		建築物	産業3次	1
66	旧喜多藤便所棟		T12		建築物	産業3次	1
67	旧喜多藤表門		T12		工作物	産業3次	1
68	旧木之本宿本陣(竹内家住宅)主屋	滋賀県長浜市	延享元(1744)／H30改修	北国街道に面する大型町家。つし二階建て切妻造り棧瓦葺き。建ちが低く古式で、平面や小屋組に当初の形式を残す。一八世紀前半に遡る木之本宿本陣遺構。	建築物	産業3次	1
69	山路酒造主屋	滋賀県長浜市	S3	北国街道に長大な間口を構えて酒造業を営む。二階建て入母屋造り棧瓦葺きに座敷棟が道から控えて接続する。木之本宿を代表する大規模町家。	建築物	産業2次	1

No	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
70	弘誓寺(ぐぜいじ)本堂	滋賀県東近江市	寛政2(1790)	いわゆる七弘誓寺の一つで、井伊家の寄進による江戸後期の伽藍整備の遺構がよく残る。本堂は桁行七間梁間七間入母屋造り本瓦葺きで、内陣を中心に前方を外陣、左右を脇陣とする浄土宗寺院本堂の特徴を示す。本堂西の庫裏は、妻飾(つまかざり)を二重虹梁大瓶束(たいへいづか)笈形(おいがた)付きとし脇に海老(えび)虹梁を架け華美に飾る。庫裡・本堂間中央に位置する玄関は式台を備え、前方の中門とともに伽藍枢要の景観を形成する。高い石積み基壇(きだん)の上に建つ鐘楼堂、急勾配で建ちの高い屋根をもつ四脚門形式の表門とともに保存を図る。	建築物	宗教	1
71	弘誓寺庫裏		文化2(1805)		建築物	宗教	1
72	弘誓寺玄関		E後期		建築物	宗教	1
73	弘誓寺中門		E後期		工作物	宗教	1
74	弘誓寺鐘楼堂		E中期		工作物	宗教	1
75	弘誓寺表門		享保6(1721)		工作物	宗教	1
76	神光院本堂	京都府京都市	文政12(1829)	江戸後期から近代にかけて整備された建物が残る真言宗寺院。本堂は桁行三間、梁間四間、入母屋造り銅板葺きで、前一間を外陣、後三間を内陣とする江戸後期中規模本堂の好例。中興堂は宝形造の主体部に入母屋(いりもや)造りの屋根を付け、さらに張り出して唐破風(からはふ)の向拝を構えるなど屋根構成などに創意が認められる。客殿は三行三列の九室で上手(かみて)となる西列最奥を上段とするなど上質なつくり。蓮月庵は歌人の大田垣蓮月が寓居(ぐうきょ)とした小庵。山門は本瓦葺きの一間薬医門(やくいもん)で古刹(こさつ)の表構えをつくる。	建築物	宗教	1
77	神光院中興堂		T6		建築物	宗教	1
78	神光院客殿		文政9(1826)		建築物	宗教	1
79	神光院蓮月庵(れんげつあん)		E末期		建築物	宗教	1
80	神光院山門		E後期		工作物	宗教	1
81	旧土谷家住宅主屋(こむぎ処マルキ)	和歌山県和歌山市	E末期/H29改修	熊野街道に面する和歌山県では珍しい妻入町家。つし二階建、入母屋造り木瓦葺きで、上屋を三間の鍔葺に見せるが、梁は間口一杯の四間に架ける。	建築物	住宅	1
82	島影家住宅主屋	和歌山県和歌山市	S11/S53頃改修	熊野街道に面する入母屋造り木瓦葺きの主屋。梅普請(つがぶしん)で座敷に屋久杉と伝わる天井板を用いるなど材料や意匠に凝った上質な近代和風住宅。	建築物	住宅	1
83	浦家住宅主屋	和歌山県有田郡広川町	M後期/T前期増築	旧広村の中心に位置。主屋はつし二階建て入母屋造り本瓦葺き。南寄りに玄関を開け、右脇に出格子を建て、二階両脇に袖壁(そでかべ)を掲げる。隠居屋は床板に檜(けやき)の一枚板、天井に笹空(ささく)の杉を用いる。いずれも山林業を営んだ施主が材を吟味した近代和風住宅。鉢巻まで漆喰で塗り上げた丁寧なつくりの文庫蔵、L字形平面をもつ前蔵・中蔵及び檣蔵とともに屋敷地の景観を形成する。	建築物	住宅	1
84	浦家住宅隠居屋		S前期		建築物	住宅	1
85	浦家住宅文庫蔵		T前期		建築物	住宅	1
86	浦家住宅前蔵・中蔵及び檣蔵		E末期		建築物	住宅	1
87	旧楠本家住宅(和田家住宅)離座敷	和歌山県日高郡日高町	M後期	平屋建て寄棟造り木瓦葺きで四周に下屋を廻す。座敷は目の詰んだ檜を用い、特に四方柱の柱は目を引く。細部にも意匠を凝らした上質な接客空間。	建築物	住宅	1
88	森家住宅主屋	和歌山県日高郡印南町	T5/S45改修	主屋は平屋建てで入母屋造り木瓦葺きとし屋根の正面を出桁造りとする。低い軒や間取り等に紀州の山間農家の伝統を継承する。隠居屋は平屋建て入母屋造りで、青色釉薬(ゆうやく)の木瓦が建築時の流行を伝える。	建築物	住宅	1
89	森家住宅隠居屋		S40		建築物	住宅	1
90	瑞松庵(ずいしょうあん)山門	山口県宇部市	S12	入母屋造り茅葺きの一間楼門(ろうもん)。下層は角柱で柱間は開放とし、上層は丸柱で縁に禅宗様高欄(こうらん)を廻らす。小振りながら古刹の表構えをつくる。	工作物	宗教	1
91	愛媛県庁本館	愛媛県松山市	S4	中央の車寄(くるまよせ)上部に半円アーチを並べ、頂部にドームを冠した塔屋を載せた鉄筋コンクリート造四階建て県庁舎。設計は木子七郎(きごしちろう)。	建築物	官公庁舎	2
92	西条栄光教会礼拝堂	愛媛県西条市	S26	西条藩陣屋跡に位置。礼拝堂の南に牧師館、西に幼稚園園舎が接続する。いずれも木造切妻造り木瓦葺きで、白色の壁に縦長窓が連続するモダンな礼拝堂、漆喰壁に木部を現す和風の牧師館、屋外廊下に円柱と矩形の開口を並べるモダンな園舎と、三棟で意匠を絶妙に違える。設計は浦辺鎮太郎(うらべしずたろう)。	建築物	宗教	2
93	西条栄光教会牧師館		S26		建築物	宗教	2
94	西条栄光幼稚園園舎		S26		建築物	学校	2
95	杣人(そまびと)の家	福岡県八女市	M後期/S35増築改修・同61改修	二階建て入母屋造り平入り木瓦葺きで四周に下屋を廻し、北東に座敷棟を突出させる。軸組に檜等の良材を用いた八女市山間部に建つ民家。	建築物	住宅	1

No	名称	所在地	建設年代	特徴など	種別	基準	
96	光栄菊酒造通り蔵及び本蔵	佐賀県小城市	通り蔵 T9/S11改修、本蔵 S2/S11改修	小城市の旧街道に面する酒造施設。中心施設となる通り蔵及び本蔵は二階建て半切妻(はんぎりづま)造り棧瓦葺きで南北棟の二棟を東西に並べ、南端で接続してコの字形平面を成す大型建物。接続部は吹き抜けで、豪壮な小屋組を見せる。洗い場及び釜場は通り蔵の北に接続する。本蔵の東には北からモトクラ、ムロマエ、旧麹室を並べ、いずれも切妻造り平屋建てで、旧麹室は腰を煉瓦積みとして特色を見せる。これら一連の醸造施設に加え、釜場の外部には大釜から繋がる煙突が建ち、地域のランドマークとして親しまれている。	建築物	産業2次	1
97	光栄菊酒造洗い場及び釜場		S前期		建築物	産業2次	1
98	光栄菊酒造モトクラ		S5		建築物	産業2次	1
99	光栄菊酒造ムロマエ		M中期		建築物	産業2次	1
100	光栄菊酒造旧麹室(こうじむろ)		S前期		建築物	産業2次	1
101	光栄菊酒造煙突		S前期		工作物	産業2次	1
102	遠藤家住宅主屋	鹿児島県西之表市	天保11(1840)/T後期増築	種子島に所在。近世の建築とみられる主体部に、数寄屋趣味の続き間座敷や医院部分を増築。伝統家屋に近代和風の要素を加味した住宅。	建築物	文化福祉	1
103	岩元家住宅主屋	鹿児島県南さつま市	M前期/S中期増築	入母屋造り棧瓦葺きで通りに妻を見せ外壁は豎板(たていた)張り。秋目麓集落に位置する元網元の住宅で、集落のランドマークとなる伝統民家。	建築物	住宅	1
104	當山記念館	沖縄県国頭郡金武町	S10	鉄筋コンクリート造平屋建てで陸屋根の平明な意匠をもつ。沖縄海外移民の父と称された社会運動家・當山久三の記念館。	建築物	文化福祉	1
<p>注 建設年代：Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。 種別：土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。 基準：1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。</p>							